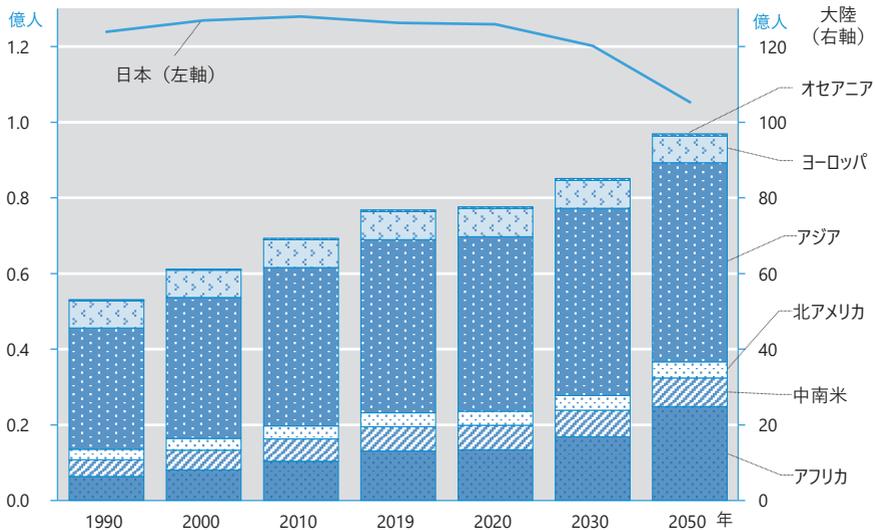


## 2-1 世界、大陸及び主要地域の人口



[関連表](#) p.60 「第2-1表 総人口」

国連が隔年ベースで公表する『世界人口予測』の2019年改訂版(本書の資料出所)によると、世界人口は1950年代以降のどの時点よりもペースが鈍化してはいるものの、継続的に成長しており、1994年から2019年半ばまでで20億人増加して77億人となった。2020年には、さらに8000万人あまり増加して78億人近くに達すると推計している。また、より長期的には、2030年に中位推計で85億人、2050年には97億人への増加が予測されている。

今後、2020年以降2050年までに増加が見込まれる19億4024万人のうち、6割弱(59.2%)に相当する11億4868万人はアフリカで、また33.5%(6億4921万人)はアジアで、それぞれ生じるとみられる。対照的に、中南米(1億847万人、5.6%)や北アメリカ(5633万人、2.9%)、オセアニア(1470万人、0.8%)では人口増加は低位にとどまり、またヨーロッパでは、3715万人(1.9%)の人口減少が予測されている。

同様に、日本でも人口の減少が進行するとみられており、2020年の1億2648万人から、2030年には1億2076万人、さらに2050年には1億580万人となると推計されている。